

①合戦を表現した武者飾りが彩る山笠4基が集合。②会場の熱気をかき立てた笛の音色。③歯を食いしばり、全身で山を押し上げる。④最後の力を振りしぼり白髪神社143段の階段をのぼる氏子たち。⑤大人顔負けに指揮で昇き手を鼓舞する未来の担ぎ手。



伊方 方地区で脈々と受け継がれてきた伝統行事、赤坂神社と白髪神社の神幸祭。今年も大型連休中の5月4日から2日間に渡り催され7基の山笠がそろいました。工夫を凝らした個性際立つ山笠が五穀豊穡、無病息災を願い、それぞれの地区を練り歩きました。人口減少が地域の課題となる中、江戸時代からの歴史を重んじ、多くの観客の視線を浴びながら神事を遂行。老若男女が世代を超えて取り組む町の貴重な財産となっています。祭りへの思いは次代を担う子どもたちへしっかりと受け継がれていきました。陽光と人の熱に包まれながら、地域は活気に満ち、祭りの鼓動が人々の胸に焼き付いた伊方地区。来年もこの熱さが福智の初夏の到来を告げてくれることでしょう。



勇壮な太鼓の響き、にぎやかな祭囃子の音色、担ぎ手の掛け声。活気に満ち溢れた2日間が今年も初夏の到来を告げ、伊方地区を祭り一色に染めました。

神幸祭

赤坂神社

白髪神社



⑥五穀豊穡を祈る春祭りを象徴するような、田園風景に「オーラー、ヤッサー」の掛け声が響き渡る。⑦「泣かない強い子！」獅子舞保存会の獅子に頭を噛まれ無病息災を祈願。⑧赤坂神社から力強く神輿を担ぎ、町を練り歩く氏子たち。

きらびやかな電飾をまとった山笠同士が勢いよく近づいては離れる「競り合い」。勇壮華麗な山笠競演が見物客を沸かせた。

書／三木清雲

野添童心会



西流會



方城19区(中古門)



東和会



酒友會



新友會



後谷同好会



豪華絢爛7基集合
山笠紹介